

これまでと これからに思うこと

近畿大学総合社会学部教授
(環境・まちづくり系専攻)

久 隆浩



「市民ネットすいた」の これまで

「市民ネットすいた」設立10周年おめでとうございます。市民公益活動センターの指定管理をめざし、市民自らが中間支援をおこなってこうと設立された貴団体ですが、法人の運営、そしてセンターの運営を通じて吹田の市民活動を支援してきたことに敬意を表します。さまざまな団体を担ってきたメンバーで立ち上がった法人は、価値観や考え方の違いで当初は衝突すること多いのですが、貴法人はそれを乗り

こえ真の中間支援団体として吹田の市民活動、協働の取り組みの発展に貢献してきたと思います。

私自身「市民事務局かわにし」の初代理事長として、川西市の中間支援を担ってきた経験から、中間支援の重要性を認識していますが、一方でそれをなかなか理解してもらえないもどかしさも感じてきました。それは、諸活動が目に見え、イメージしやすいのにくらべ、中間支援はみずから動くのではなく活動団体の支援に回るためにイメージしづらいことに起因しているのではない

かと思います。しかし、「市民ネットすいた」はこの10年で吹田市における中間支援の立場を確固たるものにしたのではないのでしょうか。

ご承知のとおり、**中間支援には、市民活動団体を支える役目、市民活動団体同士をつなぐ役目、市民活動団体が活動しやすい社会をつくる役目、などがあります。**活動を始める、活動が続けるときに、何か困りごとがあるとき、支援が必要なとき、気軽に相談し、ともに考えてくれる存在が「市民ネットすいた」だと思います。

「市民ネットすいた」の これから

「市民ネットすいた」が設立された2011年は、東日本大震災を経験した年でした。阪神淡路大震災が起こった1995年は「ボランティア元年」と呼ばれていますが、2011年の東日本大震災では「絆」の重要性が再認識されました。近年は毎年のように水害が起こるようになり、また2019年からは新型コロナウイルスの感染に振り回されてきました。

こうした危機をみんなで乗り越えていくためにも、**これからもますます市民活動、そして協働が重要になります。**そのコーディネーターとして「市民ネットすいた」の活躍を祈念しています。

また、近年は若年層を中心に、今までとは違うタイプの社会貢献活動が増えてきました。社会問題解決に仕事として取り組む社会起業家、楽しいイベントでまちを魅力的にする活動、など活動も多様になってきています。こうした活動に取り組む団体の法人

格も NPO 法人に限定されず、一般社団法人、合同会社などさまざまなです。2020年には「労働者協同組合法」が制定され、法人格や活動の担い方もさらに多様になってきます。ボランティア団体、NPO 法人を対象に中間支援を行うことが多かったと思いますが、これからはより多様な活動や団体に触手を伸ばし、吹田のまちがよりよくなっていくことを期待します。

市民公益活動を支援します！

CNSuita

Civil Network

ニュース

10周年 記念号

発行日：2022年3月

発行者：NPO 法人市民ネットすいた
吹田市津雲台 1-2-1-6F ラコルタ内

10周年をむかえて

市民ネットすいた

当法人は吹田市公益活動拠点施設運営準備会のメンバーが、初代理事長故谷川一二氏の元に結集した団体です。

この10年間、市民公益活動センターの指定管理者でありながら認知度は低いものです。

しかし、「ラコルタを運営している法人です」と、胸を張れるほど確かな実績を残すことができました。市民で構成された法人だからこそ、豊かで柔軟な発想で闊達な運営が

できています。センター開設前から担当課と毎月話し合いを重ねつつ、フットワーク良く専門性を持って市民に寄り添うことができたと自負しております。

このコロナ禍で、益々きめ細かい社会課題に向き合う市民活動が必要な時代になり、私たちはこれからも吹田市民公益活動の推進に寄与し、市民目線で「長く住み続けたい吹田」のまちづくりに邁進してまいります。



2021年度役員

文末になりましたが多くの方に支えられ、ここまで年数を重ねることができましたことを感謝申し上げます。

理事長 長谷川 美津代

10周年を祝して

吹田市長
後藤 圭二



NPO 法人市民ネットすいたが設立 10 周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。また、日ごろから市民一人ひとりが生きがいを持ち、市民、市民公益活動団体、事業者、行政が協働していくことのできる住みよい社会を目標として、市民の公益活動を多方面から支援されていることに改めて敬意を表します。

近年、少子高齢化や核家族化の進展により、地域のつながりが希薄になる一方で、市民ニーズは多様化・複雑化しています。そのような中での地域住民の皆さまによるきめ細かい御活動は、地域社会において重要なものであり、さまざまな分野での市民活動や、地域での自主的なまちづくり活動は、本市の強みとなっています。この「協働」の一翼を担う市民公益活動団体を長きにわたり支援され続けてきた貴法人の存在意義は、今後ますます大きなものとなっていけることと御期待申し上げます。

結びにあたりまして、貴法人の今後益々の御活躍と皆様方の御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

◆ HISTORY

2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021

■ 設立総会を開催（4月）

■ NPO 法人の認証を受ける（9月）

■ コミュニティ・デザイナーの山崎亮氏を講師に迎え、設立記念フォーラムを開催（12月）



■ 吹田市 市民公益活動人材育成講座「わたしにもつくれる！NPO」を受託（1～2月）

■ 吹田市立市民公益活動センター指定管理者に選定（2012～16年度）



（仮称）市民公益活動拠点施設運営準備会に参加していたメンバーが中心となり 2010 年 10 月から発起人会を開催。

■ 復興支援すいた市民会議に参加

■ 「ファミリーマート吹田栄通り商店会店」提携し、イートインスペースを活用した栄えるカフェ IN 吹田」を運営開始（11月～）



「栄えるカフェ IN 吹田」では交流の場として月 1 回「コミ亭居酒屋」を開催。コロナ禍ではオンラインで継続し、全国から参加者が集まっている。

■ シビックテックコミュニティ「Code for SUITA」を発足（9月～）



■ 「吹田まつり実行委員会」から、「吹田まつり」に対する市民の意識調査を受託。（2017～18年度）

■ 地域資源を活用した市民参加型の学びの場「キタオオサカ大学」をコーディネート（2016～20年度）



■ 吹田市立市民公益活動センター指定管理者に選定（2017～21年度）

■ 「北摂 NPO・SB 支援のための緊急補助金プロジェクト」を発足（5月～）



北摂 6 市の中間支援組織が集まりコロナ禍における団体支援の取り組みとして発足。約 200 万円の寄付を集めた。

■ 吹田市立市民公益活動センター指定管理者に選定（2021～26年度）

■ 「吹田市制施行 80 周年プロジェクト会議」に参加（～2020年度）

わたしたちは市民参加と協働のまちづくりを実現します。そのために、次の 2 点を軸に新たなステージに踏み込みます。

1

中間支援団体としての専門性と経験を積極的に活用して、市民社会実現のためのプラットフォームの提供と資源仲介を行い、**まちづくり事業を積極的に展開**していきます。

2

北摂の中間支援団体のつながりをもとに、地域を支えるチカラとなる「課題解決ネットワークの構築」と「中間支援を担う人材育成」を協働する**自治体の枠を超えた中間支援モデルを展開**していきます。

◆ MESSAGE



10 年経ちましたね！おめでとうございます。共に活力ある地域共生社会の実現に向けて、互いに素敵な関係でありましょう。貴団体のますますのご発展をお祈りしています！

社会福祉法人 吹田市社会福祉協議会
事務局長 広田 倫久



10 周年おめでとうございます。当初は連日夜 9 時頃まで討議を重ね、私はソフト部会に関わったことから広報誌創刊 2011 年～ 18 年に加わられたことと光栄でした。ますますのご発展を祈ります。

発起人会 メンバー（元理事）
佐藤 和男



10 周年おめでとうございます。北摂の中間支援組織の仲間として 10 年以上前から協働し成長してきた大切な存在です。これからもパワフルな活動を大いに期待しています。

特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのお
理事長 須貝 昭子



発起人会にお声掛けをいただいてもうそんなに年月が…。ラコルタの運営をされるようになってからは、何かと頼らせていただいています。今後の活躍にも期待しています。

発起人会 メンバー（元理事）
増田 左知子



10 周年おめでとうございます。市民公益活動の促進に今何が必要なのか常に考え、全力で取り組まれている姿勢に敬服しています。皆様の益々のご発展とご健勝を心よりお祈りいたします。

元 吹田市まち産業活性部地域自治推進室 主幹
伊藤 悦史



ファミリーマート吹田栄通り商店会店にて NPO 団体の活動スペース運営にご協力いただいております。地域貢献の心強いパートナーとして期待しております。

有限会社 清水屋
代表取締役 清水 慎一郎